

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	国際金融論		
担当者(Instructors)	岩本 光一郎	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

国際金融に関する基本的な知識について理解した上で、現代の世界経済や国際金融の諸問題を自分なりに考察できるようになることを目指す。そのため、外国為替・国際収支・通貨制度といった国際金融の基礎的な概念についての解説を行う。また、講義テーマと関連した時事問題および歴史上の事象についても積極的に取り上げてコメントする予定である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	黒板を活用した講義形式。テストや課題をクリアするためには板書の内容が必須であるため、きちんとノートをとることを求める。 ※月に一回程度、リモート講義を行う予定

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンスとイントロダクション	講義の進め方と、本講義で学ぶ内容について解説する。	<input type="checkbox"/>
第2回	為替レート 1: 外国為替市場	外国為替市場の構造について解説する。	<input type="checkbox"/>
第3回	為替レート 2: 為替レートの諸概念	名目為替レートをはじめとする諸概念について解説する。	<input type="checkbox"/>
第4回	金利裁定	自国金利と外国金利金利との関係について解説する。	<input type="checkbox"/>
第5回	変動相場制度と固定相場制度	変動相場制度と固定相場制度の基本概念、各々の特徴について解説する。	<input type="checkbox"/>
第6回	為替制度選択	各為替制度のメリットとデメリットについて解説する。	<input type="checkbox"/>
第7回	中間まとめ	ここまでの学習内容の確認	<input type="checkbox"/>
第8回	為替レートの決定 1: 購買力平価説	主に購買力平価説について解説する。	<input type="checkbox"/>
第9回	為替レートの決定 2: アセットアプローチ	主にアセットアプローチについて解説する。	<input type="checkbox"/>
第10回	GDPと国際収支	SNAに関する基本的な事項を確認しつつ、国際収支表について解説する。	<input type="checkbox"/>
第11回	マンデル＝フレミング・モデル 1: モデルの導出	開放経済を前提とするマクロモデルであるマンデル＝フレミング・モデルを導出する。	<input type="checkbox"/>
第12回	マンデル＝フレミング・モデル 2: 政策シミュレーション	マンデル＝フレミング・モデルを用いて、変動相場制度や固定相場制度の下での財政および金融政策の効果がどう変化するかを確認する。	<input type="checkbox"/>
第13回	EU通貨統合	EUの通貨統合の内容と背景について解説する。	<input type="checkbox"/>
第14回	アジア通貨危機	1997年に発生したアジア通貨危機について解説する。	<input type="checkbox"/>
第15回	総括	ここまでの学習内容の確認	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、参考図書1の該当箇所を読んでおくこと、毎日の為替レートの動向など国際金融関連の情報に触れておくことなどを推奨する(2時間程度)。事後学習としては、ノートの内容を点検して不明な部分がないかを確認しておくこと、出された課題について解説された解法を使って、自力でもう一度解いておくことを推奨する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題や小テストについては、その回もしくは次回の講義で、内容および解法について解説する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
主体性	◆ 2021国際ビジネスDP3	開放経済モデルを活用して、マクロ経済政策がいかなる効果・影響を社会に与えるかを説明できる

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
70%			10%	20%
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) ・その他の中身は、講義内課題および小テストである。 ・上記は合否に関する評価基準である（グレードについては基本的に筆記試験の結果を反映する）。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	藤井英次『コア・テキスト国際金融論 第2版』新世社	
2	『外国為替の知識〈第4版〉』日経文庫	
3	西村陽造・佐久間浩司『新・国際金融のしくみ』有斐閣アルマ	
4		
5		